

# 気候や人間の健康に影響を及ぼす 大気中の微粒子（エアロゾル）

人間活動や自然界から大気に放出される微粒子は、雲粒の核となって雲の性質を変えたり、太陽放射を直接吸収・散乱することにより、気候に影響を及ぼしています。また、呼吸を通じて人体に取り込まれた微粒子の有害性も懸念されています。

このような多面的な影響を持つ大気中の微粒子（エアロゾル）について、研究の最前線を分かりやすく解説します。

**2022年9月3日（土） 13:30 – 16:00**  
(オンライン)

「エアロゾルは最新のIPCC報告書でどう語られたか」

金谷 有剛 氏（海洋研究開発機構）

「コンピュータで再現するエアロゾルとその気候影響」

松井 仁志 氏（名古屋大学）

「曝露実験で探るエアロゾルの生体影響」

奥田 知明 氏（慶應義塾大学）

司会：水嶋 千詠 氏  
(気象予報士)

受講無料

定員 480 名

(対象：高校生以上) 【要申込 / 先着順】

気象学会中部支部



<http://www.metsoc.jp/chubu/>